

# 「自然災害伝承碑」の活用イメージ

- **土地の成り立ちと、先人が伝えてくれた災害履歴を組み合わせ地理院地図で提供**

→災害を現実としてイメージ可能に

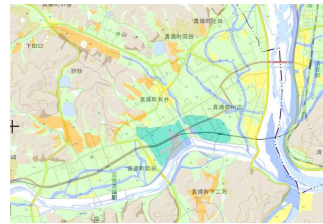
災害履歴情報



自然災害伝承碑

組み合わせ

土地の成り立ち



地形分類



## 明治26年大洪水供養塔



明治26（1893）年10月、台風襲来により高梁川や小田川の堤防が決壊した。この大洪水による死者は2百余名と伝えられており、供養塔の頭部は当時の水位を示している。

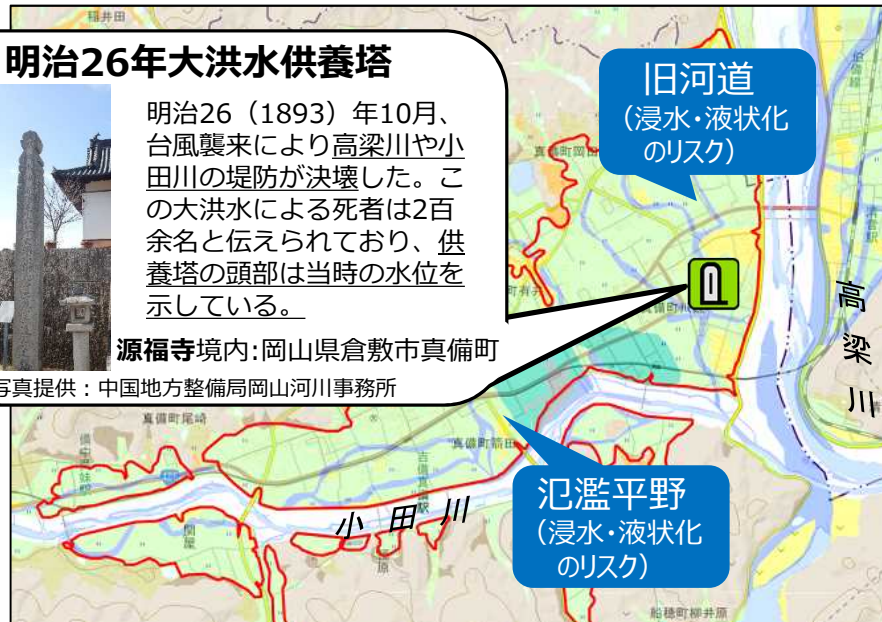
源福寺境内：岡山県倉敷市真備町

写真提供：中国地方整備局岡山河川事務所

旧河道  
(浸水・液状化  
のリスク)



氾濫平野  
(浸水・液状化  
のリスク)



土地の成り立ちと、災害履歴情報を「地理院地図」上で重ね合わせ

## 学校における 学習教材



身近な災害履歴を学ぶための学習教材として、小中学校で活用できる。

地理教育や防災教育  
への貢献

## 地域探訪の 目標物



地域を探訪する際の目標物となり、自然と過去の災害情報に触れる機会を創出できる。

防災に対する関心を  
高めるきっかけ